



平成 28 年 12 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社シンシア
代表者名 代表取締役執行役員社長 中村 研
(コード番号：7782 東証マザーズ)
問合せ先 取締役執行役員管理部長 荒井 慎一
(TEL.03-5695-7470)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 28 年 12 月 16 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後ともなお一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の平成 28 年 12 月期（平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日）の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円、%)

	平成 28 年 12 月期 (予想)			平成 28 年 12 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)		平成 27 年 12 月期 (実績)	
		対売上高比率	対前期増減率		対売上高比率		対売上高比率
売 上 高	4,904	100.0	15.6	3,778	100.0	4,244	100.0
営 業 利 益	576	11.8	183.4	410	10.9	203	4.8
経 常 利 益	319	6.5	0.2	184	4.9	318	7.5
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	191	3.9	△9.6	108	2.9	211	5.0
1 株 当 たり 当 期 (四半期) 純利益	100 円 94 銭			57 円 70 銭		121 円 33 銭	
1 株 当 たり 配 当 金	30 円 00 銭			—		0 円 00 銭	

- (注) 1. 平成 27 年 12 月期（実績）及び平成 28 年 12 月期第 3 四半期累計期間（実績）の 1 株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
2. 平成 28 年 12 月期（予想）の 1 株当たり当期純利益は公募予定株式数（89,000 株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分（最大 50,000 株）は含まれておりません。
3. 平成 28 年 9 月 8 日付で普通株式 1 株につき 100 株の株式分割を行っておりますが、平成 27 年 12 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益を算出しております。

【平成 28 年 12 月期業績予想の前提条件】

1. 全体の見通し

当社グループは、コンタクトレンズ事業を営んでおり、コンタクトレンズ事業を取り巻く環境といたしましては、我が国の人口は減少トレンドに入っているものの、1日使い捨て、2週間交換、1ヶ月交換タイプといった使い捨てコンタクトレンズ市場の成長、サークルレンズ、カラーコンタクトレンズといったおしゃれ用コンタクトレンズ市場の成長により、コンタクトレンズ市場全体としては堅調に推移するものと考えております。

なお、本書記載の業績予想値は、平成 28 年 6 月までの実績値と 7 月以降の業績予想値（修正予想値）の合計数値に基づいております。

2. 売上高

売上高は、取引先別、品目別の売上高予算をボトムアップ形式により策定し、予想値を算出しております。具体的には営業担当者による取引先へのヒアリングによって確認した今後の取引先毎の品目別売上予想に基づき、売上高予算を見積もっております。

インターネットやスマートフォンによる通信環境の整備・高度化を背景としたインターネット通販によるコンタクトレンズ購入割合の向上に伴う、自社製品売上高の伸長のみならず、おしゃれ用コンタクトレンズ市場の継続的拡大に伴う、取引先製品のOEM受注も伸長しております。平成 28 年 12 月期の売上高は自社製品売上高 2,434 百万円（前期比 4.9%増）、OEM製品売上高 2,470 百万円（前期比 28.4%増）と予想しており、売上高総額は 4,904 百万円（前期比 15.6%増）を予想しております。第 3 四半期までの進捗状況につきましては、ほぼ計画どおり推移したことで、売上高 3,778 百万円となっております。

現時点においては、概ね計画どおりに推移し、平成 28 年 11 月までの売上高が 4,501 百万円と売上高予算の 91.8%に達しており、通期の受注残状況も鑑み、当該通期売上予想は達成可能な水準であると考えております。

3. 売上原価、売上総利益

売上原価は、品目別売上高予算に基づき、品目別の外貨建品目別売上原価を策定し、想定為替レートに乗じることにより予想値を算出しております。当社では平成 28 年 7 月以降の想定為替レートを 105.0 円/ドルと設定しており、平成 27 年 12 月期実績平均為替レートが 121.1 円/ドルであったことから、売上原価率は 70.4%と前期比 3.3%減、売上原価は 3,453 百万円（前期比 10.4%増）を予想しております。

この結果、売上総利益は 1,451 百万円（前期比 30.1%増）を予想しております。

第 3 四半期までの進捗状況につきましては、ほぼ計画どおり推移したことで、売上原価 2,694 百万円、売上総利益 1,083 百万円となっております。

現時点においては、売上原価、売上総利益共に概ね計画どおりに推移し、当該通期売上総利益予想は達成可能な水準であると考えております。

4. 販売費及び一般管理費、営業利益

前年実績、今期活動予定等を勘案し、各部署ごとの販売費及び一般管理費予算を作成し、それを集計することによって策定しております。今期に関しては、物流業務効率化による費用逡減活動を推し進めており、人件費及び地代家賃の低減を見込んでおります。具体的には、物流業務のアウトソースにより5名の人員削減、物流倉庫の移転の影響を加味し、販売費及び一般管理費は874百万円(前期比4.1%減)を予想しております。

この結果、営業利益は576百万円(183.4%増)を予想しております。

5. 営業外収益・費用、経常利益

平成27年12月期末日時点における為替レートが120.5円/ドルであったのに対し、修正予想値策定時点である平成28年6月末日においては、為替レートが103.0円/ドルまで変動いたしました。この円高基調の為替変動が、商品輸入に係る外貨建予定取引の為替相場変動リスクをヘッジする目的で保有しているデリバティブ商品の時価下落を招いたため、その影響額を355百万円見込んでおります。また、上記円高基調の為替変動に伴い、外貨建仕入債務決済等を要因として発生する為替差益を98百万円見込んでおります。

この結果、経常利益は319百万円(前期比0.2%増)を予想しております。

6. 特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益

特別損益については見込んでおりません。

この結果、親会社株主に帰属する当期純利益については、191百万円(前期比9.6%減)を見込んでおります。

本資料に記載されている当社の業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提としております、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年12月16日

上場会社名 株式会社シンシア 上場取引所 東
 コード番号 7782 URL http://www.sincere-vision.com
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 中村 研
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 荒井 慎一 TEL 03 (5695) 7470
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	3,778	—	410	—	184	—	108	—
27年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 Δ 127百万円 (—%) 27年12月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	57.70	—
27年12月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 平成28年12月第3四半期及び平成27年12月第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在していないため記載しておりません。
2. 当社は、27年12月期第3四半期累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成27年12月期第3四半期累計期間の数値及び平成28年12月期第3四半期累計期間の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
3. 当社は、平成28年9月8日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第3四半期	3,058	1,535	50.2	806.82
27年12月期	3,015	1,662	55.1	880.24

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 1,535百万円 27年12月期 1,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,904	15.6	576	183.4	319	0.2	191	Δ 9.6	100.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成28年9月8日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数（自己株式数を除く）により算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期3Q	2,000,000株	27年12月期	2,000,000株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	111,000株	27年12月期	111,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期3Q	1,889,000株	27年12月期3Q	—株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績は様々な業況の変化等により、予想数値と異なる可能性があります。なお、連結業績予想に関する事項については（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導の経済政策や日銀による金融政策を背景に、緩やかな景気回復の兆しがあったものの、個人消費の停滞、企業の景況感の陰りから下振れ懸念を払拭できておらず、また、中国経済の減速や金融市場の混乱、米国経済の下振れ懸念や追加利上げの見送り、加えて、円高・ドル安、株価下落の動きなど、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中での当社グループの状況は、カラーコンタクトレンズ市場の継続的な拡大、インターネット通販店利用顧客の増加等により、売上は順調に推移しております。

一方、損益面では、当第3四半期連結累計期間における急激な円高進行に伴い、商品輸入に係る外貨建予定取引の為替相場変動リスクをヘッジする目的で保有しているデリバティブ商品の時価が下落し、経営成績に影響を及ぼしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,778,604千円、営業利益410,406千円、経常利益184,877千円、親会社株主に帰属する四半期純利益108,997千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,895,845千円となり、前連結会計年度末に比べ135,601千円増加いたしました。これは主にデリバティブ債権が480,833千円減少したものの、現金及び預金が292,500千円、売掛金が298,333千円増加したことによるものであります。固定資産は162,481千円となり、前連結会計年度末に比べ93,073千円減少いたしました。これは主にデリバティブ債権が73,989千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,058,327千円となり、前連結会計年度末に比べ42,528千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,286,858千円となり、前連結会計年度末に比べ9,332千円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が124,742千円増加したものの、繰延税金負債が127,167千円減少したことによるものであります。固定負債は235,631千円となり、前連結会計年度末に比べ178,977千円増加いたしました。これは主にデリバティブ債務が213,980千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,522,490千円となり、前連結会計年度末に比べ169,644千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,535,837千円となり、前連結会計年度末に比べ127,116千円減少いたしました。これは主に利益剰余金が108,997千円増加したものの、繰延ヘッジ損益が235,165千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.20%（前連結会計年度末は55.14%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日開示いたしました「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

なお、上記予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	838,398	1,130,899
売掛金	499,369	797,703
商品	677,292	585,828
貯蔵品	68,509	56,421
前渡金	31,283	50,854
繰延税金資産	347	7,327
デリバティブ債権	500,541	19,708
外国為替差入証拠金	85,427	207,372
その他	68,017	54,018
貸倒引当金	△8,943	△14,288
流動資産合計	2,760,243	2,895,845
固定資産		
有形固定資産	26,866	24,069
無形固定資産	8,435	13,060
投資その他の資産		
投資有価証券	1,669	1,616
デリバティブ債権	73,989	—
繰延税金資産	7,164	3,261
その他	161,011	121,478
貸倒引当金	△23,581	△1,005
投資その他の資産合計	220,252	125,350
固定資産合計	255,554	162,481
資産合計	3,015,798	3,058,327

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	140,353	265,095
短期借入金	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	60,004	48,337
未払法人税等	45,158	4,305
賞与引当金	—	27,000
繰延税金負債	127,167	—
その他	123,508	142,120
流動負債合計	1,296,191	1,286,858
固定負債		
長期借入金	56,654	21,651
デリバティブ債務	—	213,980
固定負債合計	56,654	235,631
負債合計	1,352,845	1,522,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	75,600	75,600
利益剰余金	1,326,861	1,435,859
自己株式	△88,800	△88,800
株主資本合計	1,413,661	1,522,659
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	247,571	12,405
為替換算調整勘定	1,531	309
その他の包括利益累計額合計	249,102	12,715
新株予約権	189	462
純資産合計	1,662,953	1,535,837
負債純資産合計	3,015,798	3,058,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	3,778,604
売上原価	2,694,961
売上総利益	1,083,642
販売費及び一般管理費	673,236
営業利益	410,406
営業外収益	
受取利息	294
為替差益	164,152
その他	2,283
営業外収益合計	166,730
営業外費用	
支払利息	6,114
デリバティブ評価損	385,802
その他	342
営業外費用合計	392,259
経常利益	184,877
特別損失	
倉庫移転費用	10,004
特別損失合計	10,004
税金等調整前四半期純利益	174,872
法人税、住民税及び事業税	67,313
法人税等調整額	△1,438
法人税等合計	65,874
四半期純利益	108,997
親会社株主に帰属する四半期純利益	108,997

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	108,997
その他の包括利益	
繰延ヘッジ損益	△235,165
為替換算調整勘定	△1,221
その他の包括利益合計	△236,387
四半期包括利益	△127,389
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△127,389
非支配株主に係る四半期包括利益	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。